

# 持続可能な アジア低炭素社会に 向けた日本の役割

Japan's role for achieving  
sustainable low-carbon society  
in Asia

2011年11月22日(火) 10:00 - 17:00

会場 / (独) 国際協力機構 JICA 研究所国際会議場  
東京都新宿区市谷本村町10-5

主催 / (独) 国立環境研究所・環境省・(独) 国際協力機構

後援 / (独) 科学技術振興機構

参加  
無料

お申込みはwebから

<http://2050.nies.go.jp/sympo/111122/>

## 開催趣旨

化石燃料の燃焼や土地利用の変化等に伴い排出される二酸化炭素を中心に、メタン、亜酸化窒素、フロンなどの温室効果ガスにより引き起こされる地球温暖化問題に対してどのように世界全体で取り組んでいくべきか、世界レベルで議論が続けられている。京都議定書の遵守期限である2012年を目前にして、2030年や2050年さらには2100年のような長期を見据えながら、今何をすべきか具体的な行動を決めることが求められている。

G8やUNFCCC等の国際交渉の場で、温度の上昇を2度以下に抑えること、2050年までに温室効果ガス排出量を世界で半減することを共通の目標にする議論が進められている。2050年世界半減のためには、世界の人口の半分を抱え、経済成長著しいアジア地域が、先進国が歩んできたようなエネルギーの大量消費を前提とした開発ではなく、化石エネルギーへの依存度を抑え、省エネルギーや再生可能エネルギーを先進国に先駆けて導入していくようなリープフロッグ型の開発により温室効果ガスを出さない社会（低炭素社会）に移行することが重要である。

本シンポジウムでは、日本を含めたアジアが持続可能な低炭素社会へ到達する意義やアジア低炭素社会のビジョンとその実現のための方策を紹介し、研究から見えてきた持続可能なアジア低炭素社会の可能性を議論するものである。また、現在および将来の国際交渉スキームのあり方や低炭素社会研究の国際的なネットワークの構築を踏まえて、すでに動き出しているマレーシア・イスカンダル開発地域の低炭素社会実現への取り組み等も交え、アジア低炭素社会実現に向けて日本がどのような役割を演じることができるのかを考えていく。

## Access



### 国際協力機構研究所（JICA研究所）

JICA Research Institute

〒162-8433  
東京都新宿区市谷本村町10-5  
TEL：03-3269-2911  
FAX：03-3269-2054

- JR中央線・総武線「市ヶ谷」徒歩10分
- 東京メトロ有楽町線・都営地下鉄新宿線「市ヶ谷」A1番/4番出口 徒歩10分
- 東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」6番出口 徒歩10分

## プログラム

- 9:30-10:00 開場・受付
- 午前の部**
- 10:00-10:05 **開会挨拶**  
寺田 達志 環境省 地球環境審議官
- 10:05-10:10 **開会挨拶**  
原澤 英夫 (独) 国立環境研究所 社会環境システム研究センター長
- 10:10-10:40 **IPCC第5次評価報告書に向けた将来シナリオの検討：日本からの貢献とその意義**  
環境省 環境研究総合推進費 A-1103  
「統合評価モデルを用いた世界の温暖化対策を考慮したわが国の温暖化政策の効果と影響」最新成果報告  
藤森真一郎 (独) 国立環境研究所 社会環境システム研究センター 特別研究員
- 10:40-12:00 **アジア低炭素社会への道筋を考える：アジア低炭素社会実現のビジョンと方策とは**  
環境省 環境研究総合推進費 戦略的研究プロジェクトS-6  
「アジア低炭素社会に向けた中長期的政策オプションの立案・予測・評価手法の開発とその普及に関する総合的研究」最新成果報告  
甲斐沼美紀子 (独) 国立環境研究所 社会環境システム研究センター フェロー (プロジェクトリーダー)  
林 良嗣 名古屋大学 交通・都市国際研究センター長 教授  
蟹江 憲史 東京工業大学大学院社会理工学研究所 准教授  
明日香壽川 (財) 地球環境戦略研究機関 気候変動グループ ディレクター  
榎原 友樹 みずほ情報総研株式会社 チーフコンサルタント  
コメンテーター  
廣野 良吉 成蹊大学 名誉教授  
河合 正弘 アジア開発銀行研究所 所長  
李 志東 長岡技術科学大学 教授
- 12:00-13:00 休憩
- 午後の部**
- 13:00-13:05 **開会挨拶**  
江島 真也 (独) 国際協力機構 地球環境部 部長
- 13:05-13:10 **開会挨拶**  
岡谷 重雄 (独) 科学技術振興機構 地球規模課題国際協力室 室長
- 13:10-14:00 **低炭素社会に向けて動き出すアジア：マレーシア・イスカンダル開発地域の取り組み**  
国際協力機構/科学技術振興機構 地球規模課題対応国際科学技術協力 (SATREPS)  
「アジア地域の低炭素社会シナリオの開発」最新成果報告  
藤野 純一 (独) 国立環境研究所 社会環境システム研究センター 主任研究員
- 14:00-15:00 **低炭素社会実現に向けた実効性のある国際交渉スキームとは：気候変動の国際枠組み交渉に対する主要国の動向分析より**  
環境省 環境研究総合推進費 E-0901  
「気候変動の国際枠組み交渉に対する主要国の政策決定に関する研究」最新成果報告  
亀山 康子 (独) 国立環境研究所 社会環境システム研究センター 持続可能社会システム研究室長  
田村堅太郎 (財) 地球環境戦略研究機関 気候変動グループ 副ディレクター  
久保田 泉 (独) 国立環境研究所 社会環境システム研究センター主任研究員
- 15:00-15:30 **低炭素社会に向けた研究の促進に向けて：低炭素社会国際研究ネットワーク (LCS-RNet) の取り組み**  
LCS-RNet 「パリ年次会合」成果報告  
石川 智子 (財) 地球環境戦略研究機関 チーフセクレタリー
- 15:30-15:50 コーヒーブレイク
- 15:50-16:55 **パネルディスカッション**  
「日本の役割はここにあるー持続可能なアジア低炭素社会に向けてー」  
コーディネーター  
西岡 秀三 (独) 国立環境研究所 特別客員研究員/(財) 地球環境戦略期間 研究顧問  
パネリスト  
井上孝太郎 (独) 科学技術振興機構 上席フェロー  
江島 真也 (独) 国際協力機構 地球環境部 部長  
西田 裕子 東京都環境局 都市地球環境部
- 16:55-17:00 **閉会挨拶**  
笹野 泰弘 (独) 国立環境研究所 地球環境研究センター長

※プログラムは変更になる場合があります